

卒業研究 (Graduation Research)						
本科	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担当	
土木建築	必修	5年	8	研究	土木建築工学科全教員	
【授業の概要】 土木工学、建築学におけるひとつの分野の調査・研究を通じて自主的研究能力、開発能力を養成し、卒業論文をまとめ、その成果を発表することにより、技術者として必要な考察力、表現力を身につける。高専5年間で学んだことの集大成ともなる最も重要な科目である。						
【授業の進め方】 4年後期の初めに研究室紹介を行い、研究室配属を決定する。その後、各指導教員のもとで研究テーマを検討した後、調査・研究を始める。研究は、文献調査、資料収集、実験、解析、考察等を行う。5年後期(11月)に中間発表を行い、研究成果の途中経過と今後の予定について報告する。最終的に、論文をまとめ論文集に掲載すると同時に発表会にて講演する。						
【授業の概要】						
【スケジュール】						
4年後期	研究室紹介 研究室配属決定					
5年11月	卒業研究中間発表					
5年2月中旬	卒業論文提出 同研究成果発表会					
【研究室】						
土木系						
構造工学	(原・田村)					
材料工学	(工藤・橋本・島袋)					
鋼構造学	(海田)					
地盤工学	(上・桑嶋)					
水理学	(佐賀・渡辺)					
建築系						
建築構造	(原)					
建築史	(中川)					
建築設計	(古田)					
都市計画	(熊野・目山)					
建築環境	(西尾・平栗)					
【到達目標】	設定した研究テーマについて、背景や文献調査を行い、問題の発見と解決のための手法を身に付ける。そして、最終的に得られた成果を論文としてまとめ、同時に効果的にプレゼンテーションすることを到達目標とする。					
【徳山高専学習・教育目標】	B2		【JABEE基準1(1)】		g	
【評価法】	最終成績は、中間発表での評価を20%、最終発表の評価を80%とする。最終発表では、指導教員(40%)とその他の教員(60%)による「論文」と「プレゼンテーション」の内容の総合評価による。指導教員の評価は、研究目的・内容に対する理解度、研究目標に対する達成度、研究に取り組む姿勢(自主性・計画性・創意工夫、卒業論文の完成度、卒業論文発表会での発表態度、の5項目を概ね最高20点で評価し合計する。その他の教員による評価は、卒業研究のテーマ選択の適切さ、卒業論文の完成度、卒業研究発表会での発表態度を按分して評価する。					
【テキスト】	土木建築工学科卒業論文に関連する情報は、本校土木建築工学科ホームページに掲載している。					
【関連科目】						
【成績欄】	前期中間試験 【 】	前期末試験 【 】	前期成績 【 】	後期中間試験 【 】	後期末試験 【 】	学年末成績 【 】